

平成 27 年 10 月 日

北秋田市長 津谷 永光 様

第 2 次北秋田市総合計画策定審議会

委員長 濱田 純（公印省略）

第 2 次北秋田市総合計画の策定について（答申）

平成 27 年 7 月 15 日付け北秋総政 070006 で諮問のありました第 2 次北秋田市総合計画（素案）について、当審議会において慎重に審議した結果、いずれもこれから 10 年かけて目指すまちづくりの指針として妥当なものと認めます。

つきましては、審議会の議論による修正事項を織り込んだ別添「第 2 次北秋田市総合計画（答申）」をもって答申といたします。

なお、審議の中で各委員から出された意見を付記いたしますので、計画の推進にあたっては特に配慮され、適切な進行管理のもと、目標達成に向けた万全の体制を取るよう要望いたします。

【審議会委員から出された意見】

基本理念 1 健康でしごとにはげむ活力のあるまちづくり（健康・産業分野）

1－1．地域医療の充実

・市民病院の満足度の目標値が低いと思われることから、より高い目標を実現するように心がけていただきたい。

1－3．農業・畜産業の振興

・農業・畜産業は、市の基幹産業であることから、市としての施策・市政を強く打ち出し、より地域と一体となった取組を推進いただきたい。

1－4．林業の振興

・市域全域での特用林産物の推進を検討いただきたい。

・木材・秋田杉の活用を考えるなかで、県北は業者が多い地域だが、林業技能者が減っており衰退してきているので、対策をもう少し話し合っていたきたい。

1－5．商業の振興

・地域ぐるみで購買力を高めることが重要であることから、地場の企業から購入するような取組を推進いただきたい。

・地域ぐるみで購買力も含めて成長させることが大事で、一人1万円を地場の商工業で使うと450人が地元就職できるはずである。

1－6．観光・レクリエーションの振興

・クマ牧場は動物園ではない。一定の量を超えたものは間引きし、剥製や肉として産業に結び付けて、その財源を経営に結び付けることが大事ではないか。また、放牧していくことも含めた研究体制も必要と考える。

・宿泊施設が無いので観光が一過性になってしまう。宿泊も伴う観光を誘致できるような形にしていた方が良い。市長をはじめとして、積極的にホテルを引っ張ってくることも検討してほしい。

- ・旅行パッケージの中で、つり好きな年配な人と宿泊施設や写真業者・食品加工業者などがタイアップできるとビジネスになるのではないかな。
- ・空港料金が高く、正直言って乗りにくい。搭乗率が低いといっているが空いている。安く開放して、行き来できるようにしてほしい。
- ・市内にもそれなりの企業はあるが、率先して育児休暇などを与えられる職場づくりに取り組んでいないことが定着率の悪い原因だと思う。
- ・全国どこの観光地でも、宿泊施設の紹介は観光協会が窓口になっている。そういう体制を作らないといけない。

1-7. 工業の振興

- ・雇用が無い訳では無いので、上手くマッチングさせられるとよい。
- ・北秋田市の特徴として、農地・林業など地域資源型産業をどうにかして一工夫した取組ができないかな。
- ・地元で働いてもらうためには、小中高での意識づけやスポーツを通じた土地に対する愛着づくりも重要である。
- ・首都圏では介護施設が足りず、地価も高いことから地方に求めていると聞いたことがあるが、介護施設を作って雇用の場を作るといことはどうか。
- ・UターンやAターンも大切だと思うが、出ていかないことも大事なのではないかな。出ていかないようにするメリットなどについての準備が必要ではないかな。
- ・ハローワークでも仕事はあるが、賃金の底上げを考えないと地元に残ってもらえないのではないかな。
- ・企業の誘致には、情熱と顔の利いた人が真剣に関わらないと来ない。市からは色々な人が都会に出て行っているのだから、その人を本気にさせるようなシステムが必要と思う。
- ・企業には地方に来ることのメリットがないといけない。土地をタダで提供しても来ない。北秋田市には雪や雇用の場等のデメリットが多い中、他の企業誘致が成功している地域ではどういう条件で来ているかの検討が必要である。

基本理念 2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり（福祉分野）

2－3. 高齢者福祉の充実

・包括ケアシステムの構築に向けては地域づくり、在宅医療の推進が重要であることから、ステーション数や在宅看取り数も目標としながら取り組んでいただきたい。

基本理念 3 命の大切さを学び文化をはぐくむまちづくり豊かなまちづくり（子育て・教育分野）

3－1. 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実

- ・結婚や子どもを望む若者が多いことを踏まえて、非正規雇用者の待遇改善や育児休暇等と与えられる職場づくりに市としてもサポートを検討していただきたい。
- ・自分は良い環境で子どもを育てられたと感じている。このような良さをもっと首都圏に広めて人を呼び込むことが出来ればよいと考える。
- ・市内にもそれなりの企業はあるが、そのような企業が率先して育児休暇などを与えられる職場づくりに取り組んでいない。

3－2. 学校教育の充実

・子どものいじめやトラブルは、対策が十分と言われている地域でも発生しているという現状を踏まえて、本市としての取組を進めていただきたい。

3－5. スポーツの振興

- ・スポーツ施設は老朽化のみならず現在の競技基準に合わないという側面も出ていることから、その観点での環境整備も忘れずに取り組んでいただきたい。また、振興にあたってはスポーツ団体との協働が重要となることから、手続きの簡素化や開催日程等にも配慮いただきたい。
- ・学校統廃合により、まだまだ使える体育館があると思う。市のサブ体育館として、老人クラブ等の団体にも使いやすくして、競技スポーツで公認大会ができる施設をある程度種目を絞ってできるようにしていく長期計画が必要ではないかと感じる。

基本理念 4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり（環境・都市基盤分野）

4－8．公共交通の維持・確保

・内陸線のレールバスの導入など内陸線継続に向けた取組を検討いただきたい。また、移住定住の促進の観点から、大館能代空港の運賃低減に向けた取組も検討いただきたい。

基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり（市民生活・行財政分野）

5－5．男女共同参画社会の実現

・積極的に女性の活用を図る観点から、例えば副市長に女性を登用する等の大胆な取組を検討いただきたい。

5－6．移住定住の促進

・教育水準の高さや自然環境等の良さを首都圏にPRを行い、人を呼び込むことにつなげていただきたい。また、Uターンしてもまた都会に戻るという実態もあることから、その対応についても十分検討いただきたい。

5－7．行財政改革の推進

・縦割り行政の解消及び着実な事務引継ぎを進め、組織としての一貫性を強化していただきたい。

その他

・せっかく福祉のまちとしてイメージもあるので、特区を作って新しい形で進めていただきたい。

・将来都市像を踏まえ、森を作る特区でも良いと思う。「もり」を徹底的に掘り下げて、仕事を結びつけてもらいたい。